

看護学教育分野における引用文献の比較調査

松坂敦子

埼玉医科大学保健医療学部図書館

目的

看護学の教育分野におけるコアジャーナルの動向を探るため雑誌論文の引用（参考）文献の調査を行った。昨年行った研究分野の調査では、対象誌が『看護研究』誌1誌だったため、34年間の調査ではあったが、相対的な評価を下すにはいたらなかった。今回は、調査対象誌を3誌とすることで、相対的な傾向を探るとともに、調査対象誌別データと比較と第一著者の所属別データの比較を試みることにした。

調査対象

調査対象としたのは、「日本看護学会論文集（看護教育）」、「日本看護学教育学会誌」、「看護教育」の3誌である。調査期間は、『日本看護学会集録』から『論文集』に変更された1998年から2005年の8年間とした。調査対象論文は、コラム・エッセイ・対談等と外国人著者による論文を除いたものである。

調査方法

調査対象3誌の引用(参考)文献の雑誌論文をリストアップし、誌名をWebcat・PubMed等で確認を行った。これらの調査で確認できなかった雑誌については、医中誌 Web・J-Dream・MEDLINE等で調査を行い、巻・号不一致や、大学の紀要等で分野が分かっているにもかかわらず記載のなかった文献については、雑誌記事索引で確認し、確認できなかった文献については、所蔵館に書誌調査を依頼、または文献の複写を取り寄せ確認を行った。その上で、下記の項目について調査を行った。

1. 引用(参考)文献欄に書かれている雑誌のランキング
2. 調査対象論文の雑誌引用比率
3. 外国誌と国内誌の引用比率
4. 引用年代
5. 自誌引用比率
6. 雑誌別引用（1つの論文で引用された雑誌が他の論文でも引用されているのかどうか）
7. 第一著者の所属調査

以上7項目について、3誌合計のデータによる分析と各誌別の分析、そして第一著者の所属別にみた3誌合計のデータ分析と各誌別の分析から傾向を探る。